

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
E-mail:club1991@fujieda-rotary.org

会長：早川 清人 副会長：伊藤 彰彦 幹事：松浦 正秋 副幹事：渡邊 芳隆

第1060回



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング それでこそロータリー・里の秋
- ソングリーダー 杉浦 聡君

会長挨拶

早川 清人君

皆さん、こんにちは

一昨日の16日には、大型で強い台風26号が、広い範囲を風速25メートル以上の暴風域に巻き込み、伊豆諸島付近から関東、東北の太平洋沿岸の会場を北上しました。伊豆諸島では「50年に一度」を越す記録的な大雨となったと新聞報道されました。土砂崩れによる住宅倒壊が多数発生し、特に深夜の被災と云うこともあり、現時点で死者22名、行方不明者27名という大惨事となりました。お亡くなりになった方々には謹んでお悔やみ申し上げ、被災された方々にはお見舞い申し上げます。



それにしても今年は、今夏の異常気象の影響で、台風の発生が非常に多い年です。そして今後の台風の進路も静岡を縦断する気配が色濃くなっていると聞き及びました。

私たちも、対岸の火と考えずに、いざと云う時のための備えだけは万全にしておきたいものです。

さて、先週は、志田洪顯ガバナーをはじめとしたご来賓をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催させて頂きました。

志田ガバナーのお話は、ロータリアンとして「ロータリーを生きる」うえでの道標として、職業奉仕に努めるための指針になったことと思います。そして、藤枝南ロータリークラブにとって明日への懸け橋になったものと確信しているところです。

皆様のご協力に感謝申し上げます。

では、最後にまた法律の話をしします。本日は、親が離婚すると、子供の氏や戸籍はどうなるのかと云うお話です。

結婚の際に氏を変えた親は、離婚すると原則として旧姓に戻ります。（これを「復氏」といいます。）他方、子の氏はもとのままです。そこで、親の離婚にあたり、子の戸籍や氏を変更する方法として、家庭裁判所に【子の氏の変更許可】の申し立てをすることができます。家庭裁判所が氏の変更を許可した後、市区町村役場で氏の変更届をすると、子の氏が変更され、旧姓に戻った親の戸籍に入ることになります。氏の変更届は、原則として子自身が行うこととなりますが、子が15歳未満の場合は、親権者が行います。

尚、結婚の際に氏を変えた親が、婚姻中の氏を離婚後も引き続き使用する場合（これを「婚氏続称」といいます。）でも、子は元の戸籍に入ったままです。子の氏の変更許可を得なければ、婚氏続称の手続きをした親の戸籍に入ることはできません。ではまた次回。

幹事報告

松浦 正秋君

- 第2620地区より
ガバナー公式訪問のお礼文が届いております。
- 第2620地区より
職業奉仕活動事例集のご案内が届いております。
- 国際ロータリー日本事務局より
日本語カタカナ表記における中黒の使用方針の変更についてのご案内が届いております。
- 公益財団法人米山記念奨学会より
ハイライトよねやま163号が届いております。

ます。

- 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会より「会員証」と会報が届いております。

出席報告

寺田 章君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
39 / 45 86.66%	40 / 45 88.88%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

池谷君 竹田君 富澤静君 中山君

川口君 高杉君

(2)メイクアップ者

富澤 静雄君(静岡東・藤枝)

森竹 正晃君(静岡東) 望月 誠君(藤枝)

渡辺 哲朗君(藤枝) 樽井 勉君(藤枝)

中山 恵喜君(藤枝) 桑原 茂君(藤枝)

ビジター

河井 宏文君(藤枝)

スマイルBOX

寺田 章君

- 妻の誕生日プレゼントありがとうございました。 渡辺 哲朗君
- 結婚記念のお祝いありがとうございました。これからもよろしくお願いします。 山田 壽久君

スマイル累計額 224,000円

会員卓話

西光インテリク(株)
岡村 邦康様



《藤枝市と宮古島のコラボスイーツ「パイモ」》

H23年

宮古島市：紫芋を宮古島の特産品に

- 1600年頃宮古島に渡来した史実がある。
- 薩摩芋や紅芋のルーツで宮古島市は特産化を計画
- 現在栽培面積10ヘクタール・生産量120トン

H24年

宮古島市イモ生産販売組合を設立

- 紫芋を換金作物に 宮古島市、六次産業化へ企業と連携
- 宮古島市が安定供給に向け生産農家を指導、南国食楽Zuがペーストに一次加工、沖縄製粉が新商品の製造と販売
- 8年後に栽培面積95ヘクタール・生産量2100トンに

販路が無く...

- 見込んでいたペーストの出荷先 大手コンビニが計画縮小
- 組合員一人当たりの買取り量を1トンに満たない

H25年

フリーズサイエンスで商品開発

- 藤枝市は宮古島市と友好交流、市のカラーは藤色であり販路開拓の協力 学校給食に紫芋パン
- (公財)静岡県産業振興財団のフーズ・サイエンスヒルズの興業種連携で商品開発
- パイ「パイモ」と「紫芋ようかん」は、藤枝市と宮古島市のコラボスイーツ
- 原料の凍結ペーストは宮古島モズクと混載で藤枝へ輸送

《宮古上布の「糸綜統制作器」の復元》

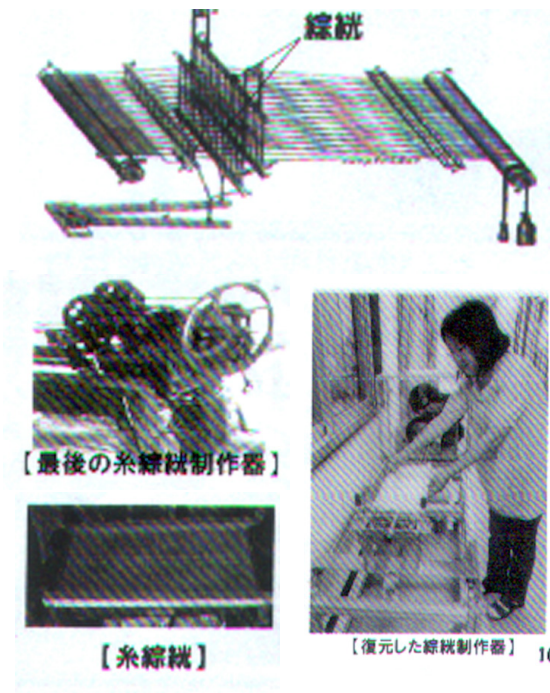
宮古上布の消滅を救済

宮古上布は重要無形文化財で伝統工芸品。繊維は細く、機織りには宮古上布独特の糸で作った綜統(ソウツ)「糸綜統」が必要。

H20年、糸綜統を作る熟練工が島を離れ、制作する道具は故障して宮古上布専用の糸綜統は制作不能になる。

糸綜統が無いと縦糸にチョマ(苧麻)の糸は使えない。縦糸に麻糸を使うと「宮古織り」と呼ばれ、重要無形文化財と伝統工芸が取り消され、宮古上布が消滅する危機となった。

直ちに動作を解析し、3年がかりで誰でも使える綜統制作器を復元した。



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
10/25(金) 第 1061 回	宮古島先遣隊 報告	
11/1(金) 第 1062 回	未来の夢計画に ついて	私の職業 お役立ち情報
11/9(金) 第 1063 回	ハイキング例会	
11/15(金) 第 1064 回	外部卓話	

(担当 / 内山君)

■ 今週の一言

山田 壽久君

【私の欲しいもの】

先週末に韓国へ建設業組合の研修旅行で行ってまいりました。

当日は、大変天気が良く、行きの飛行機の中から韓国の国土を、南からインチョン空港まで眺めることができました。めったにないことと喜んでいましたら、帰りは日本の国土を愛知県あたりまではっきり見ることができました。また愛知県から静岡空港にかけては、雲の上に浮かぶ富士山を見ることができました。

今まで何回も飛行機に乗っておりますが、初めての体験でした。日本の国土の素晴らしさを改めて感じました。

その時、私の欲しいものは、あと少なくとも 10 年は健康で仕事をして、いろいろな所に旅行できるような状況でいたいと、つくづく感じました。これからもバリバリ仕事をして、いろいろな所に行って、よその国の良さと日本の良さを再発見するようにしていきたいと思います。まだまだ、行っていない国や地域がたくさんありますので、少しずつ訪ねて行きたいと思っています。

政治的な問題はおののどの国ともありますが、経済や文化は政治的な事には拘束されず、仲良くお付き合いが出来ればと思います。